

全員参加・震災対応訓練

特色のある内容

平成19年11月3日、広河原学区自主防災会では、震災対応訓練を行いました。これは、室内において、救出のジェスチャー又は消火器を構えるという簡単な動作で地震発生後の組織的活動を訓練するもので、高齢者でも気軽に参加することができます。その代わり、他の人に指示を与えたり、その場の状況に応じて迅速に判断して協力する必要があるため、参加者の主体的な動きが必要とされます。広河原自主防災会長のリーダーシップのもと訓練が活発に行われました。



特記事項

- 高齢者を含め全員が参加できる訓練内容に努めました。

防災カルテを活用した震災対応策の検討

特色のある内容

竹間学区自主防災会では、例年各家庭、各自主防災部、自主防災会単位で総合防災訓練を実施しています。平成18年度は各家庭での初動措置訓練、各自主防災部での人員及び被害等の情報収集、一時避難場所の竹間公園への避難行動訓練、自主防災会での本部運用訓練を実施しました。その後こどもみらい館の4階大会議室に会場を移し、防災カルテによる各自主防災部の建物の倒壊、火災の延焼等のシミュレーションに基づく総合防災訓練を実施しました。

参加者は倒壊による犠牲者の人数、火災の10分、30分、1時間後の被害拡大状況の説明を受けた後、シミュレーションの結果から、竹間学区の地震対策について皆で話し合い、各自主防災部における災害対応能力を向上させるため、防火、防災の取組について積極的に実施し、今後も自主防災会、竹間分団、消防をはじめとする行政が一体となって進めていくことを確認し合いました。



特記事項

- 自主防災部単位で市民防災行動計画を策定する際、防災カルテによる情報提供を行った経過があるが、自主防災会単位で情報提供を行うことはあまりありませんでした。
- 竹間学区等の面積、人口など規模が比較的小さい学区では、一時避難場所が限定されるため、自主防災会単位で、建物の倒壊状況、延焼状況から避難経路を見直す必要があります。